

2018年3月期 第3四半期連結業績概要 2018年3月期 通期見通しについて

常務執行役員
山西 哲司

- ◆売上は期初より3四半期連続で過去最高を更新
- ◆営業利益は高周波部品事業の一部譲渡影響を吸収、更にM&A関連費用を含みながら前年同等の収益を確保
 - 第3四半期の売上は前年同期比5.0%増、営業利益は横ばい。
 - 受動部品は、好調な自動車及び産業機器市場の需要増加に応え、コンデンサが着実に収益基盤を拡大。
 - センサ応用製品は、磁気センサのICT市場向け販売が拡大し、大幅増収。
 - 磁気応用製品は、HDDヘッドの収益安定化、及び磁石、電源は産業機器市場向け販売拡大が続き、売上横ばいながら増益を確保。
 - 二次電池は、スマホ向け売上が継続して拡大、更に新規アプリケーション向け販売も着実に拡大し、四半期ベースで売上、営業利益が過去最高。

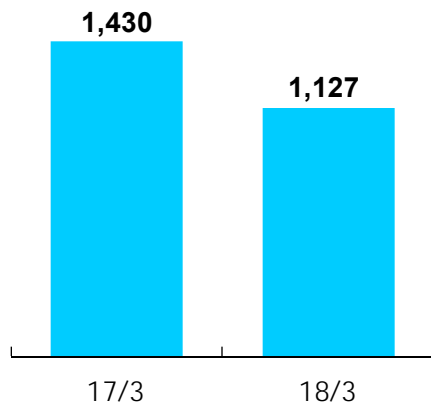
2018年3月期 第3四半期（四半期）連結業績概要



(億円)	2017年3月期 第3四半期実績	2018年3月期 第3四半期実績	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	3,248	3,411	163	5.0
営業利益	325	324	△ 1	△ 0.3
営業利益率	10.0%	9.5%	-0.5 pt	-
税引前利益	321	335	14	4.4
当期純利益	244	216	△ 28	△ 11.5
1株当たり利益(円)	193.52	170.96	-	-
為替	対ドルレート(円)	109.19	112.97	3.5%の円安
	対ユーロレート(円)	117.74	133.00	13.0%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約137億円の増収 営業利益：約16億円の増益			

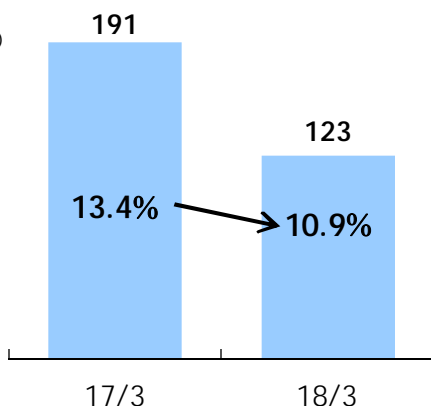
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 1,127億円（前年同期比21.2%減）
営業利益 123億円（前年同期比35.6%減）

●セラミックコンデンサ

- ・前年同期比で増収増益。
- ・自動車市場向け販売が増加。

●インダクティブデバイス

- ・売上は前年同期比で増加。
- ・自動車市場向け、産業機器向け販売が増加。

●高周波部品

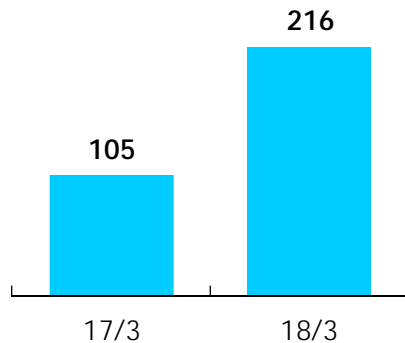
- ・一部事業譲渡の影響により前年同期比で減収減益。

●圧電材料部品

- ・前年同期比で減収減益。
- ・カメラモジュール用アクチュエータの販売が減少。

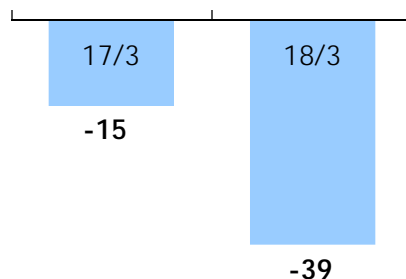
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



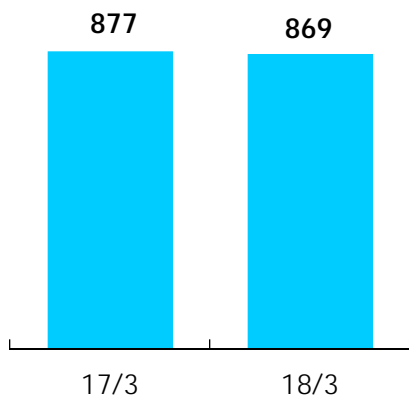
売上高 216億円（前年同期比105.7%増）
営業利益 Δ 39億円（前年同期比一%減）

●センサ

- ・5月に買収完了のインベンセンス社の売上が連結され前年同期比で売上増。
- ・磁気センサは、用途拡大が進みICT市場向け販売が増加。
- ・営業利益は、インベンセンス社の買収関連費用等の計上で赤字拡大。

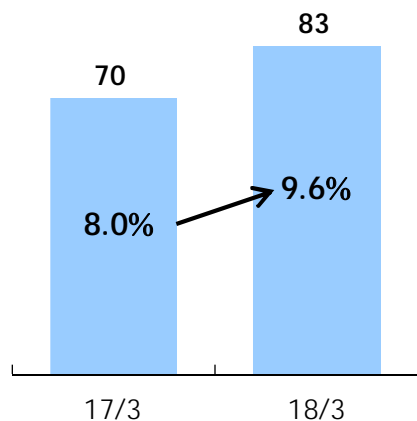
売上高

(億円)



営業利益（営業利益率）

(億円)



売上高 869億円（前年同期比0.9%減）
 営業利益 83億円（前年同期比18.6%増）

●HDDヘッド

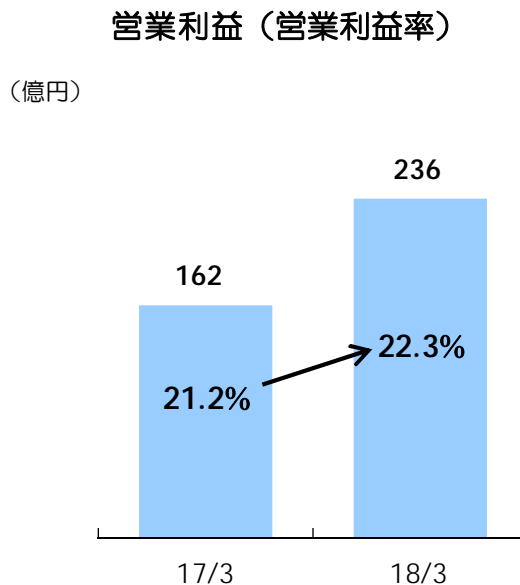
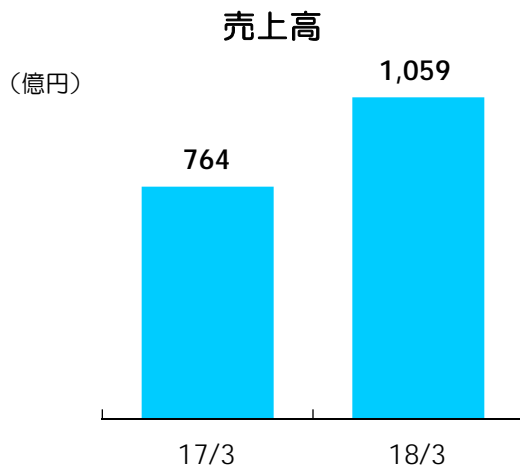
- ・売上は前年同期比で減少。
- ・サスペンションはHTI社買収により売上増。

●マグネット

- ・売上は前年同期比で増加し収益性も改善。
- ・風力発電、産業機器等の用途向けで売上増。

●電源

- ・産業機器市場が好調に推移し前年同期比で増収増益。
- ・半導体製造装置、ロボティクス関連用途向け等が好調。
- ・新製品の市場投入により収益性改善。



売上高 1,059億円（前年同期比38.6%増）
営業利益 236億円（前年同期比45.7%増）

●エナジーデバイス（二次電池）

- ・前年同期比で増収増益。
- ・モバイル用途向けの販売が好調に推移。
- ・ドローン、ゲーム機等の新規アプリケーション向けの販売も拡大。

セグメント別四半期実績

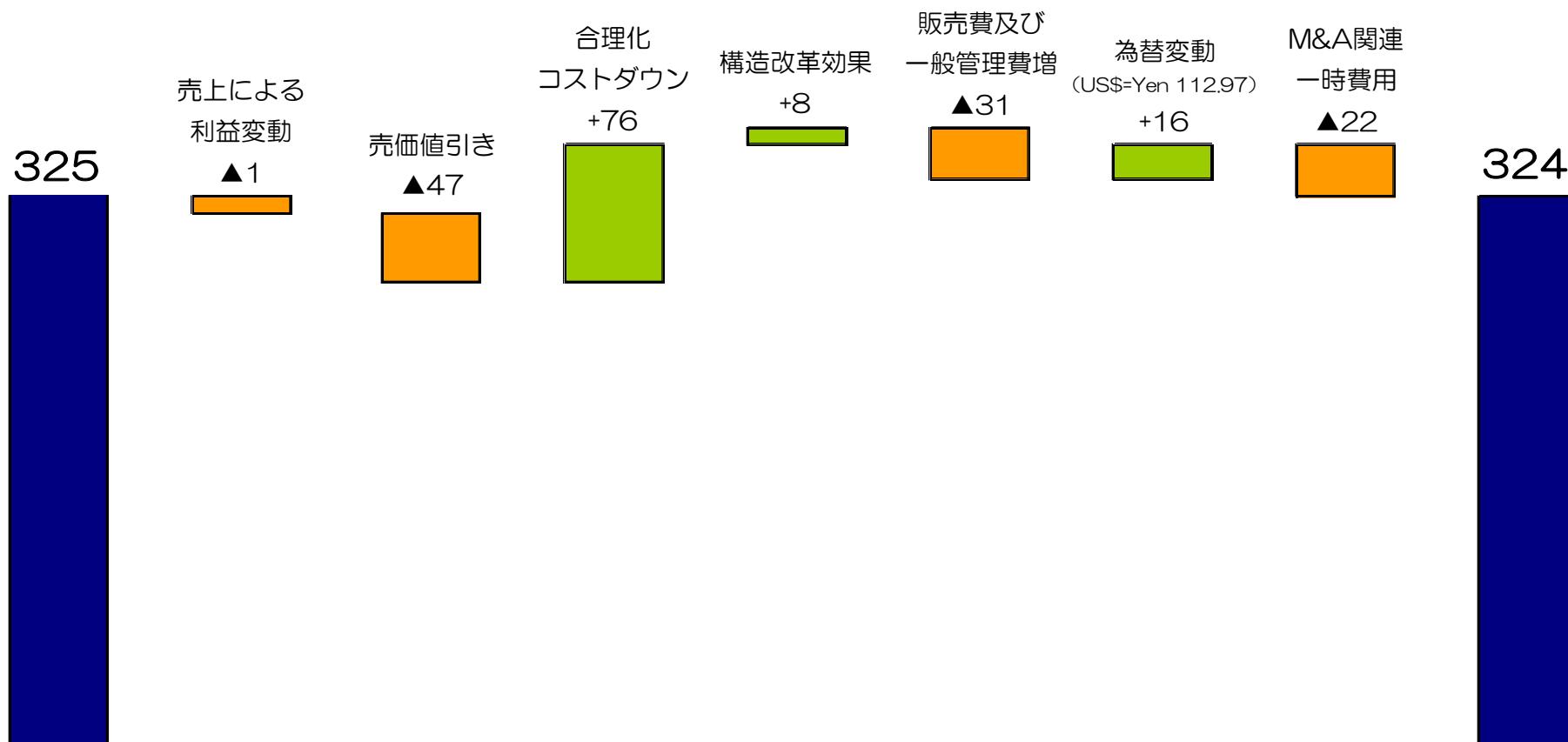
(億円)		2017年3月期 第3四半期 (A)	2018年3月期 第2四半期 (B)	2018年3月期 第3四半期 (C)	対前年同期比増減 (C) - (A)		対直前四半期増減 (C) - (B)	
					増減	増減率(%)	増減	増減率(%)
売上高	コンデンサ	336	392	401	65	19.3	9	2.3
	インダクティブデバイス	366	405	403	37	10.1	△ 2	△ 0.5
	その他受動部品	728	318	323	△ 405	△ 55.6	5	1.6
	受動部品合計	1,430	1,115	1,127	△ 303	△ 21.2	12	1.1
	センサ応用製品合計	105	202	216	111	105.7	14	6.9
	記録デバイス	660	618	623	△ 37	△ 5.6	5	0.8
	その他磁気応用製品	216	237	246	30	13.9	9	3.8
	磁気応用製品合計	877	856	869	△ 8	△ 0.9	13	1.5
	フィルム応用製品合計	764	1,035	1,059	295	38.6	24	2.3
	その他	72	133	141	69	95.8	8	6.0
合計	3,248	3,340	3,411	163	5.0	71	2.1	
営業利益	受動部品	191	124	123	△ 68	△ 35.6	△ 1	△ 0.8
	センサ応用製品	△ 15	△ 61	△ 39	△ 24	-	22	-
	磁気応用製品	70	61	83	13	18.6	22	36.1
	フィルム応用製品	162	213	236	74	45.7	23	10.8
	その他	△ 10	△ 12	△ 4	6	-	8	-
	小計	398	325	399	1	0.3	74	22.8
	全社および消去	△ 73	△ 59	△ 75	△ 2	-	△ 16	-
	合計	325	266	324	△ 1	△ 0.3	58	21.8
営業利益率	10.0%	8.0%	9.5%	-0.5 pt	-	+1.5 pt	-	
為替	対ドルレート (円)	109.19	111.01	112.97				
	対ユーロレート (円)	117.74	130.26	133.00				

2017年3月期
第3四半期
325億円

営業利益 ▲1億円

2018年3月期
第3四半期
324億円

(単位：億円)



2018年3月期 第3四半期（9か月）連結業績概要



(億円)	2017年3月期 第3四半期累計実績 (2016.4.1~2016.12.31)	2018年3月期 第3四半期累計実績 (2017.4.1~2017.12.31)	対前年同期比	
			増減	増減率(%)
売上高	9,040	9,647	607	6.7
営業利益	768	747	△ 21	-2.7
営業利益率	8.5%	7.7%	-0.8 pt	-
税引前利益	764	777	13	1.7
当期純利益	571	523	△ 48	-8.4
1株当たり利益 (円)	452.53	414.12	-	-
為替	対ドルレート (円)	106.67	111.72	4.7%の円安
	対ユーロレート (円)	118.15	128.45	8.7%の円安
為替変動による 影響金額	売上高：約 411億円の増収 営業利益：約 66億円の増益			

2018年3月期 連結業績及び配当金見通し



(億円)	2017年3月期 通期実績	2018年3月期 業績予想 (2017年5月発表)	2018年3月期 業績予想 (2017年10月発表)	2018年3月期 業績予想 (2018年1月発表)	業績予想対前期比	
					増減	増減率(%)
売上高	11,783	11,100	12,500	12,500	717	6.1
営業利益	2,087	800	850	850	△ 1,237	△ 59.3
営業利益率	17.7%	7.2%	6.8%	6.8%	-10.9 pt	-
税引前利益	2,117	790	880	880	△ 1,237	△ 58.4
当期純利益	1,451	550	600	600	△ 851	△ 58.6
1株当たり利益(円)	1,150.16	435.82	475.37	475.36	-	-
配当金	上期：60円 下期：60円 年間：120円	上期：60円 下期：70円 年間：130円	上期：60円 下期：70円 年間：130円	上期：60円 下期：70円 年間：130円	-	-
為替	対ドルレート	108.46	108.00	下期 108.00	4Q 108.00	-
	対ユーロレート	118.92	118.00	下期 127.00	4Q 127.00	-
固定資産の取得 (設備投資)	1,676	1,600	1,700	1,700	24	1.4
減価償却費	875	880	900	900	25	2.9
研究開発費	913	860	990	990	77	8.4

この資料には、当社または当社グループ（以下、TDKグループといたします。）に関する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価等といった、将来に関する記述があります。これらの将来に関する記述は、TDKグループが、現在入手している情報に基づく予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として作成しているものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいるものです。従って、これらのリスク、不確実性、その他の要因による影響を受けることがあるため、TDKグループの将来の実績、経営成績、財務状態が、将来に関する記述に明示的または黙示的に示された内容と大幅に異なったものとなる恐れもあります。また、TDKグループはこの資料を発行した後は、適用法令の要件に服する場合を除き、将来に関する記述を更新または修正して公表する義務を負うものではありません。

TDKグループの主たる事業活動領域であるエレクトロニクス市場は常に急激な変化に晒されています。TDKグループに重大な影響を与え得る上記のリスク、不確実性、その他の要因の例として、技術の進化、需要、価格、金利、為替の変動、経済環境、競合条件の変化、法令の変更等があります。なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。

又、本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、多くの数値は億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。詳細な数値が必要な場合は、決算短信及び補足資料を参照していただきますようお願いいたします。



決算説明会の質疑応答を含むテキスト情報は、以下のページに後日掲載いたします。
http://www.tdk.co.jp/corp/ja/ir/ir_events/conference/2018/3q_1.htm